# 令和元年度 9月補正予算総括表

(単位:千円)

				(単位:十円)						
	会 計 区 分	現計予算額	9月補正額	補正後予算額						
	一般会計	85,513,521	5,374,839	90,888,360						
	9月補正	。 予算(一般会計)説明資	を							
	食肉センター	281,450		281,450						
	国民健康保険(事業勘定)	20,211,919	·	20,333,707						
	国民健康保険運営基金積立金を補正									
ιL-1-	国民健康保険(診療施設勘定)	38,166	1,119	39,285						
特		一般管理事務費を	·補止							
	後期高齢者医療	2,167,258	·	2,181,256						
別		一般管理事務費等	を H I							
	公設地方卸売市場事業	42,299		42,299						
会	整備墓地	45,548		45,548						
	工業用地造成事業	1,131,513		1,131,513						
計	介 護 保 険	18,490,006	· ·	18,994,833						
			<u>L</u>							
	電 気 事 業	52,015	3,341	55,356						
	<mark></mark>	業特別会計準備基金	は積立金を補止							
	小 計	42,460,174	645,073	43,105,247						
企	水 道 事 業	4,974,892	1,555	4,976,447						
IE.	給水費を補正									
	簡易水道事業	1,017,757		1,017,757						
業	御池簡易水道事業	229,134		230,548						
		給水費を補正								
会	公共下水道事業	4,592,585	3,350	4,595,935						
		処理場費等を補	正							
	農業集落排水事業	908,387	13,426	921,813						
		Andre Steel william to be a fine								
計		管渠費等を補工	Ē							
<b>計</b>	小計	管渠費等を補工 11,722,755	E 19,745	11,742,500						

## 令和元年度 9月補正予算(一般会計)説明資料

(単位:千円)

	1						_			(単位:千円)
		款		事	業	名	補正	語額	説明	
	10 総	務	費	LINE活用作	青報発	信事業		814	LINE活用情報発信事業に要する経費 ・市公式LINE活用に伴う委託料 外	【 <b>資料 1 】</b> (秘書広報課)
				ふるさと応援	基金		2,60	0,813	ふるさと応援基金積立に要する経費 ・指定寄附金の収入実績に伴う積立金	(ふるさと産業推進局)
				ふるさと納移	2推進	事業	1,81	2,481	ふるさと納税推進事業に要する経費	(ふるさと産業推進局)
	15 民	生	費	地域介護• 等事業	福祉的	空間整備		8,791	地域介護・福祉空間整備等事業に要する経費 ・スプリンクラー設備等施設整備事業費補助金 ・防災改修等支援事業費補助金 外	(介護保険課)
主				子ども医療	費助局	戊事業		5,250	子ども医療費助成事業に要する経費 ・子ども医療費助成事業実施に係る準備経費	【 <b>資料2</b> 】 (こども課)
な	20 衛	生	費	斎場管理費	ė.			2,230	斎場管理に要する経費 ・斎場非常用発電機更新設計業務委託	(環境政策課)
ŧ	30 農 林	水産業	<b>美費</b>	林業総合も	ヱンター	一管理費	2	8,050	林業総合センターの管理に要する経費 ・林業総合センター屋根、外壁改修工事	(森林保全課)
の	35 商	工	費	ミートツーリ(地方創生	ズム推 推進3	推進事業 で付金)	1	5,500	ミートツーリズム推進事業に要する経費 ・ミートツーリズム造成支援事業費補助金の増	【 <b>資料3</b> 】 (みやこんじょPR課)
				温泉施設等業	<b></b> 管理	運営事	1	2,233	温泉施設等管理運営事業に要する経費 ・温泉施設修繕料の増	(みやこんじょPR課)
	40 土	木		河川改良事 動公園関連			1	0,000	河川改良事業に要する経費 ・佐土原川流域状況等調査委託	(スポーツ施設整備推進室)
	45 消	防	費	常備消防事	事務費			1,951	常備消防事務に要する経費 ・非常勤嘱託賃金の増	(警防救急課)
	50 教	育	費	図書充実費	专			2,525	図書館の図書充実に要する経費 ・市立図書館の図書購入費の増	(生涯学習課)
	55 災害	复旧事美		現年発生公補助災害後	公共土 夏旧事	木施設 業	5	9,000	現年発生公共土木施設補助災害復旧事業に要する経費 ・7月豪雨被害に伴う工事請負費の増	(維持管理課)
	•	F	0	の他			81	5,201	財政調整基金 障害者福祉サービス給付費 農業集落排水事業補助金 元気な森づくり基金 都城市ファンクラブ運営事業 公共下水道事業負担金 地区公民館費 その他	681,682 3,137 20,398 33,000 5,861 3,350 2,582 65,191
			合	計			5,37	4,839		

# 令和元年度 9月補正予算説明資料



### 総合政策部 秘書広報課

## LINE活用情報発信事業

### 1 事業目的

全国8,000万人に利用されているLINEアプリを活用し、市 民等が必要な情報を直接受け取ることができる情報発信に取り 組み、市民サービスの向上や行政の効率化などを図ります。

### 2 事業概要

LINEアプリに都城市公式アカウントを開設し、情報発信するとともに、ニーズの高いイベントや防災情報等を基本メニューに設置し、ごみの分別検索や移住の相談(有人チャット)等を実装します。なお、自治体アカウントでの職員の直接対応(有人チャット)は、全国初の取り組みです。

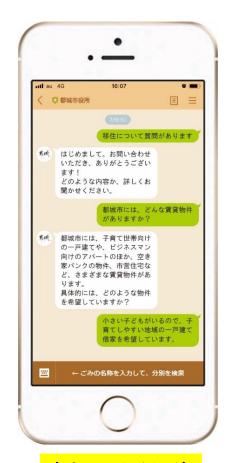
〇公開予定: 令和元年10月末

### 3 予算額

814千円



基本画面イメージ



有人チャットイメージ





### 福祉部 こども課

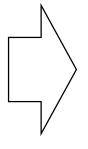
## 子ども医療費助成事業

### 1 事業目的

現在、未就学児を対象として実施している「乳幼児医療費助成事業」の助成内容を見直し、令和2年4月1日より「子ども医療費助成事業」として、助成の対象を小・中学生へ拡充します。対象者の拡充に伴い、今年度中に必要な新資格者証の発送等に要する経費を計上するものです。

### ・現行(令和2年3月31日まで)

対象者	入院•通院•調剤薬局
未就学児	無料



### ·新制度(令和2年4月1日~)

対象者	入院•調剤薬局 通院			
未就学児		無料		
小学生~中学生	無料	200円/1月 1医療機関ごと※		

### 2 事業概要

- 〇新たに助成事業の対象となる児童等 約13,000人
- 〇新資格者証等の送付にかかる郵便料 3.393千円
- 〇その他、発送用封筒及び周知用ポスター等にかかる経費
- 3 予算額 5.250千円

※診療科が複数ある病院においては、歯科と医科(歯科以外)で負担が必要となります。



# 令和元年度 9月補正予算説明資料



### 商工観光部 みやこんじょPR課

## 〇ミートツーリズム推進事業

### 1 事業目的

ふるさと納税日本一に輝いた「肉と焼酎」を観光の目玉に、meat「肉と焼酎」にmeet「出会うこと」ができる「ミートツーリズム」を積極的に展開し、観光誘客や交流人口の拡大を図ります。

### 2 事業概要

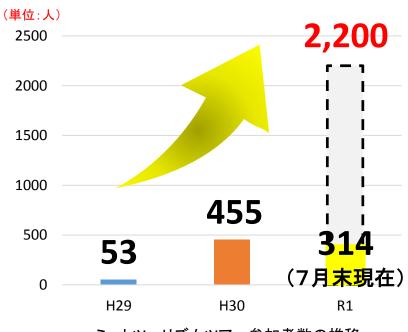
○誘客促進のためのツアー造成支援事業

ミートツーリズムを満喫できるツアーを造成・実施する旅行事業者に対して補助金を交付し、本 市への訪問のきっかけづくりを行います。補助額は、ツアー参加者1人あたり、3千円又は10千円。

#### 【積算根拠】

- ①当初見込み ツアー参加者:600~750人 補助額: 5,600千円
- ②今後見込み ツアー参加者:1,550人 補助額:15,500千円(補助額10千円)
- ※前年度補助金を活用した旅行会社から好評であり、今年度も募集型ツアーが複数予定されている。
- ※今年度のツアー参加者数は、2,200人程度となる見込み。





ミートツーリズムツアー参加者数の推移

## 「都城デジタル化推進宣言」

都城市は、本年4月、自治体経営の考え方に沿って「都城フィロソフィ」を策定。

「本気で挑戦! 日本一の市役所!」のスローガンの下、市民の幸福と市の発展を図るため人財育成による組織活性化を積極的に進めています。

その中で、普及率市区別日本一のマイナンバーカードをはじめとする、将来の街の姿を大きく変えるデジタル技術(ICT)を積極的に活用しながら、市民サービスの向上を図り、利便性が高く豊かな街を構築することを目的に「都城デジタル化推進」を宣言します。



#### ●都城デジタル化推進宣言の3つの柱

※下線部分は9月補正予算で計上中の事業です

①市民サービスにおけるデジタル化推進

市民の利便性向上を図りながら、住み良い街を創ります。

- **○交付率日本一のマイナンバーカードの活用** …『電子母子手帳、おくやみ窓口、自 治体ポイント活用、コンビニ交付』等
- **OSNSを活用した情報発信、問い合わせの自動化** …『LINE活用』等
- **〇各種行政手続きの簡素化** … 『ぷれぴか入退館管理システムの導入』等

#### ②自治体経営におけるデジタル化推進

根拠に基づいた施策の実行と、効率的な自治体経営を志向します。

- 〇証拠に基づいた政策立案(EBPM)の推進 …『データ分析』等
- ○革新的技術の積極活用 …『RPA、AI等の積極活用』等
- **〇各種行政事務の簡素化** …『電子会議システム、電子文書管理システムの活用』等
- **〇システムの最適化** …『システムの標準化、クラウドサービスの導入』等
- **○人財育成** …『デジタル時代に対応できる人財教育の推進』等

#### ③物産振興におけるデジタル化推進

都城が誇る「肉と焼酎」等の資源を世界へ発信するために、マーケティング力を強化します。

- 〇ECを活用した物産振興…【公式オンラインショップの展開】等
- 〇デジタルプロモーション···【動画やAI等を活用した情報発信】等
- ○都城ファンクラブの推進 …『数的拡大 ⇒ 情報発信』等
- ○街全体のデジタル化の推進 …『市民や市内企業向けセミナーの実施等』

【 問い合わせ 】総合政策課 電話:23-7161(直通)

都城市は、Google のデジタルスキルトレーニングプログラム「 Grow with Google」を活用し、職員及び市民を対象に、Google のデジタルスキルトレーニングプログラム「 Grow with Google」「はじめてのデジタルマーケティング」等のトレーニングを提供開始!



都城市は、Google が 2019 年 4 月 22 日に発表したデジタルスキルトレーニングプログラム「Grow with Google」のパートナーとして、職員及び市民を対象にデジタルスキル向上を目的としたセミナー開催等の活動を始めます。

9月から、まずは職員に対し「はじめての働き方改革」、「はじめてのデジタルマーケティング」、「はじめての AI」についての、オンライントレーニングを勧奨します。

市民に対しては、Google から講師を招き、「はじめての働き方改革」、「はじめての デジタルマーケティング」について、対面式セミナーを開催します。

都城市は、将来の街の姿を大きく変えるデジタル技術を積極的に活用し、市民サービスの向上を図りながら、利便性が高く豊かな街を市民と共に構築していきます。

#### 提供コンテンツ

「はじめての働き方改革」

Grow with Google の働き方改革に関するトレーニングでは、Google による実証研究の知見を基に"働く"をもっと良いものにするために、テクノロジーを使った具体的な取り組み方や、イノベーションを生むために必要なカルチャーの育み方など、新しい働き方の導入方法をご紹介いたします。

#### 「はじめてのデジタルマーケティング」

Grow with Google のデジタルマーケティングに関するトレーニングでは、ビジネスを成長させるために「認知を得る」「認知を広める」「効果を改善する」の3つの視点からデジタルマーケティングの基本を学びます。また、デジタルマーケティングの具体的な活用事例もご紹介いたします。

#### 「はじめてのAI」

Grow with Google の AI に関するトレーニングでは、基礎知識とその仕組みについて 学習し、画像認識や音声認識について実際のデモをご覧いただきながら体感していただき ます。基本知識だけでなく、事例や具体的にそれがどのような仕組みで動いているかも紹 介することで、AI を活用するヒントを得ることを目指します。

#### ■セミナーのご案内

市民に対しては、Google から講師を招き、「はじめての働き方改革」、「はじめての デジタルマーケティング」について、対面式セミナーを開催します。

#### 「はじめての働き方改革」

日時:10月26日(土)14時~15時5分

場所:都城市コミュニティセンター

「はじめてのデジタルマーケティング」

日時:10月26日(土)15時25分~16時30分

場所:都城市コミュニティセンター

【両セミナー共に10月9日(金)から、市HPより申込開始】各回先着120名

#### ■オンライン活動のご案内

職員について、3講座のオンライントレーニングの受講を勧奨するとともに、市民に対してもオンライントレーニングの受講方法を周知していきます。

#### ■Grow with Google について

Grow with Google は、Google による、これからの時代に役立つデジタルスキルの習得をサポートする取り組みです。個人・ビジネス・学生・教育者・スタートアップ・デベロッパーなど、様々なニーズに合わせたトレーニングを提供しています。トレーニングには、インターネット上で受講できる「オンライントレーニング」と、セミナーやイベントなどの「オフライン(対面式)トレーニング」があり、いずれも無料で受講できます。トレーニングは Google および Grow with Google パートナーにより提供されます。詳しくはこちらのサイト(http://g.co/growjapan)をご覧下さい。

【問い合わせ】総合政策課 電話:23-7161 (直通)

# 市立図書館にAI通訳機「ポケトーク」を九州初導入!



9月9日から市立図書館に、ソースネクスト株式会社の携帯型AI通訳機「POCKETALK®」(「ポケトーク」)を導入します。

外国人市民や外国人旅行者との円滑なコミュニケーションを実現する話題のポケトーク。気軽に気持ち良く利用できる環境を提供します。

#### ●話題のポケトーク

2017年12月の発売から50万台を販売\*。 世界74言語に対応し、ボタンを押しながら機器に話しかける簡単な操作で機器が通訳。あたかも、ネイティブの通訳がいるかのように、対話ができるAI通訳機です。 ※製品HPより



#### ●導入の経緯

令和元年7月:市立図書館指定管理者の構成団体「㈱ヴィアックス」が、指定管理業務を行っている東京都中野区立中央図書館で試験導入

8月:新宿区立図書館や大久保図書館など、関東地区の図書館を中心に試験 導入施設を拡大

9月:都城市立図書館にポケトーク1台を導入。ポケトークを導入している 図書館は、<u>九州では初めてで、愛知県名古屋市以西の西日本でも初めてです</u>。

#### ●利用する業務

施設案内や図書の利用案内などを1階「ようこそデスク」にて対応。

【問い合わせ】生涯学習課 電話:23-9545 (直通)

## 観光イノベーターを選任

## ~外部人材の自由な発想で、市の観光戦略を立案~

2020年の東京オリンピック・パラリンピック、2025年の大阪万博、2026年の宮崎国体が開催に向け、このチャンスを生かし、本市への国内外の観光誘客を促進するため、プロフェッショナル人材を全国から公募して配置。外部人材の自由な発想で、当市の新たな観光戦略を強力に推進します。

このため、4月から6月にかけて「観光イノベーター」の募集と選考を実施。全応



募者 79 名のうちから、武田 弘(たけだ ひろし) さんを選任しました。



#### ●観光イノベーター 武田弘さんのプロフィル

- ✔ 兵庫県宝塚市在住、63 歳
- ✓ 近畿日本ツーリスト株式会社(1978年4月~2016年2月)、 株式会社浪速管理業務(2016年3月~現在)
- ✓ 近畿日本ツーリストでは、商品開発や企画・販売営業、 販売ルートの開発に携わる。

#### ●業務委託の内容

- 契約期間 令和元年9月1日~令和2年3月 ※単年度更新。状況を判断しながら最長令和5年3月まで
- 契約金額 月額 780,000 円 (税別)
- 具体的な業務
  - ✔ 本市の観光分野における課題の分析
  - ✔ 観光資源の発掘、磨き上げ
  - ✔ 観光誘客増大につながる戦略の立案と推進

【問い合わせ】みやこんじょ PR 課 電話: 23-2615 (直通)

## 沖水地区公民館・市民センターが完成しました!



平成30年9月から建設工事を進めていた沖水地区公民館・沖水地区 市民センターが完成しました。

平屋造りで全館バリアフリーと した同施設。多目的ホールや会議室、 たまり場エリアなどを備えていて、 今後、同地区の社会教育、生涯学習 の拠点としての活用の期待が高ま ります。

#### ●落成式

**〇日時** 9月1日(日)10時~11時

◎場所 沖水地区公民館 太郎坊町1840番地2

◎内容 記念のテープカット、沖水中学校吹奏楽部による演奏の披露など

#### ●沖水地区公民館・沖水地区市民センター施設概要

整備事業名:沖水地区公民館建設事業

事業年度 : 平成 29 年度~令和元年度

事業費:約7億2,200万円

**※財源** : 合併特例債 6 億 7,908 万円 ※対象経費の充当率 95%、ほか一般財源

構 造 : 鉄筋コンクリート造平屋建て

延床面積 : 1,121.99 m<sup>2</sup>

#### ●施設概要

◎多目的室(多目的ホール) ※3室に分割可能

多人数の会議や式典、各種イベント会場として使用できます。各部屋を仕切ることにより、ヨガや舞踊などのサークル活動にも利用できます。

#### ◎小会議室・中会議室

会議室として利用できます。それぞれの部屋の間仕切りを格納することで、2部屋を合わせ大会議室としても利用できます。

#### ◎調理室

ガスコンロを備えた調理台を4台設置。調理教室などで利用できます。

#### ◎たまり場エリア

無料で利用できるスペース。図書コーナーや授乳室を備え、子ども達の遊び場として、休息や談笑の場としてあらゆる世代の人たちが利用できます。

#### ◎和室

お茶やお花など教室の開催に利用できます。

●供用開始 9月2日(月)

【問い合わせ】 生涯学習課 電話:23-9545

## 住民主体型介護予防事業(こけないからだづくり講座) の効果分析のため、宮崎県立看護大学との協定を締結!

当市は、住民主体型介護予防事業を円滑に効率的かつ効果的に実施することを目的に、 宮崎県立看護大学と「こけないからだづくり講座」の効果検証を行うための協定を本日、 8月29日付けで締結します。 ※協定締結式は開催しません

#### ●期待される効果

- ✓ こけないからだづくり講座 の参加者が、要介護状態に なることへの防止や要介護 状態の悪化防止につながる ことを検証
- ✓ 講座参加者の医療費低減効果等を検証
- ✓ 事業効果を市民へ提供し、 講座の更なる普及・継続と、 参加者増加を図る



#### ●検証方法

- ✓ 半年毎の体力測定時に、握力やタイムアップゴー、片足立ち測定値の経年データを分析
- ✓ 講座開始前後の要介護認定の変化の推移を分析
- ✓ 講座参加者と非参加者の、一定期間における一人当たりの総医療費・介護保険 給付費の変化を比較。講座の参加状況と医療費の変化等の相関を把握

#### ●検証するデータ

- ✓ 講座参加者の体力測定値
- ✓ 要介護認定者の介護度の変化、KDB(国保データベース)システムの医療費と介護給付費
  - ※検証データは、個人が特定できないように匿名化した上で宮崎県立看護大学に 提供

#### ●検証スケジュール

データの抽出と分析を、令和元年度から令和3年度まで継続実施。令和4年2月の 最終報告を目標に事業に取り組みます。

9月: 当市がKDBシステムからデータの抽出作業を開始

10月:抽出したデータを宮崎県立看護大学へ提供。分析作業を開始

2月:宮崎県立看護大学が、当市に分析結果を報告

【問い合わせ】介護保険課 電話:23-3184(直通)